

故に私は、國民性の覺悟をいふことにつきまして、さうしても徹底的に民族の墮落を救はうとするならば、禁酒を斷行しなければならぬと思つて居るのであります。(拍手)

酒と泥棒

酒は道徳の破壊者である、酒は私に物を奪はふものなるが故に泥棒だ、云ふのであります。但し酒屋が泥棒だ云ふわけではございませぬ、英國・佛國、獨逸に於ては、一年間に四十七億圓の酒を飲んで居る、日本の國に於ては一年に九億圓の酒を飲んで居ります。そんな大きな泥棒でも、鼠小僧でも一日平均にすれば五十七銭しか泥棒して居らぬといふのでありますからして、(笑聲)日本の酒が一年に九億圓泥棒するにすれば、是ほど恐ろしい泥棒はない、故に私は酒は泥棒だ云ふのであります。

人個性の破壊

併しなから日本の國の京博馬券が少和兵衛の物語の中に、酒がさうも足りなくて、出来るだけもう少し興味がたくて仕方がないけれども、頭へ酒が來るのが酒が行つたら興味がなから、何でも木に、逆にならなかつて、頭へ酒が來

て居つたり非常に都合が好いといふので、大酒飲みの飲助が、木に逆、憎悪、味醜を持つて、ガブ、酒を飲んだといふ癖がありますが、私共が或る種類の興味を強く要求致します時に、恰度此種飲の飲助さんのやうに酒にぶらさがつて文明が殆んど絶滅するまで飲まうといふ恐ろしい欲望があるものであります。之を私が根柢的に解決するといふことにつきましては、當に物質的の方面から見たところの禁酒運動でなくして、精神文明の根柢から、其道徳的欲求、其宗教的情熱から、さうしても禁酒運動を唱へなければならぬと思ふのであります。

私は酒が能率の破壊者であるといふことについては申上げるまでもありません、私には酒といふものが人間性其ものを根柢より破壊するものであるといふことについて特種方に訴へなければならぬのであります。

盲啜の因と酒

東京の盲啜學校の生徒千四百人を調べました結果、其中の二百五十人といふものは代々飲酒の傾向を持つたところの家庭から生れたものである、即ち酒といふものが國民性を墮落させるのみならず、其國民の體格を根本的